

## 気楽なボランティアで

### 人間づくりを!

さわやかボランティア 下畑 和幸

ボランティアは熊本県本渡市に住んでいた三年前から始めた。本渡保健所が精神保健ボランティア講座受講生の募集を行い、暇つぶしでこれに応募したのがきっかけ。講座終了後、保健所の紹介で精神障害者が働く共同作業所に入りするようになった。

ここで、生活保護を受けながら暮らしている精神障害者たちと知り合った。会社員の

して行った。  
人に優しくなれるのである  
ごみが散らかっていたりする  
とそれまでは見えない汚した  
“犯人”に腹を立てるだけで  
ごみを拾うとは考えもしなかつたのが、拾うようになった  
機嫌のよい時には車の運転  
中に乱暴な車が割り込んで  
「事故に気がつけて」と思う  
時がある(たいていは「アホ  
が」と腹を立てているけど  
)。四十過ぎまで自分本位の  
考えが多かった私が少しずつ  
柔らかくなっていくのだ。こ  
の変化が楽しく「俺は人間が  
出来てきた」と自賛し喜んで  
いる。だからボランティアで

感謝したいのはこちらなのだ  
で、北九州に転勤して何か  
したかったが会社の勤務が不  
規則で時間に制限があり適当  
なものもなかった時「さわや  
か」の活動を知った。これな  
らできる活動回数(本場に  
少ないのだが参加させてもら  
っている。近ごろ趣味は?と  
聞かれるとボランティアと答  
える。そうすると相手は「へ  
え、立派ですね」と感心  
するが、なに、当方は暇つぶ  
しを兼ねている趣味をボラン  
ティアと言っているだけの事  
今後肩ひじを張らずにの  
んびりやろうと思っている。



血液透析患者の通院介  
護制度というのを存じ  
だろうか。実は昨年10月、  
北九州市に全国で2番目  
の介護センターが、ボラ  
ンティアの支援を受けて  
設置され、患者に喜ばれ  
ているので紹介したい。

透析歴20年以上とい  
う人も多く、高齢化で通  
院に支障を来す人が目立  
ってきた。通院出来なけ  
れば入院せざるをえな  
い。通院介護は、こうし  
た全国の患者団体が共通  
の課題を抱えている。10

### 透析通院介護

の求めに応じ、事務局で  
担当を割り当て、自宅と  
病院の間をマイカーで送  
り迎える。透析には5  
時間かかるため、行き  
と帰りは、ボランティア  
のこもった活動あり。  
「朝の通勤のついでな  
ら」といって登録した不  
動産業の男性。「仕事が

毎日新聞 三月二日朝刊 北九州版より

## 車椅子専用軽自動車

### さわやかに寄贈か

#### 障害福祉課より打診

そのことで、「さわやか」に  
どうですかと、当局から打診  
があったものです。  
「さわやか」としては、通  
院介護事業に大いに役にたつ  
と考え、寄贈してもらおうよ  
う返事をしました。  
現在、「さわやか」以外に  
も数件の申し出があるそう  
で、抽選の結果、四月の記念式典  
の際に発表されるそうです。

北九州市障害福祉課より電  
話が入り、「さわやか」に車  
椅子を乗せて走れる障害者用  
の自動車の寄付があると知ら  
せてきました。  
北九州ダイハツが60周年を  
向かえるので、その記念事業  
の一環として、障害者団体に  
軽自動車を一両寄付する旨、  
障害福祉課に申し出があり、

透析患者は相互扶助精  
神がここのほかに強い。そ  
こには週3回、5時間の  
透析を受け、食事制限を  
しなければ命を落とすとい  
う、厳しい現実が背  
景にある。この制度は全  
国腎臓病協議会(東京)  
が、他都市に広める準備  
をしており、北九州の成  
功の意義は大きい。

### 研修会近づくと



あと一カ月で、第2回のボ  
ランティア研修交流会がま  
す。現在、参加者を募って  
いますが、特別用事のある人  
を除いて、大部分の方が参加の  
意思表示をされています。  
今回、講師をされる栗本さ

んも、既に教科書を作成され  
皆さんに話をするのと張り切っ  
ておられます。  
桜の花が満開の日田路をゆ  
っくり楽しみ、明日へのエネ  
ルギーを蓄えましょう。